

| | | | | | |
|----|------|----|-------|----|-----|
| 氏名 | 細野高史 | 所属 | 機械工学科 | 職位 | 准教授 |
|----|------|----|-------|----|-----|

| 職務 | 項目例 | 割合【%】 | | 活動内容 |
|-----------|--|-------|----|---|
| | | 計画 | 実績 | |
| 教育 | 授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など | 計画 | 45 | 1. 前期は本科の専門8科目と専攻科1科目、後期は本科の専門6科目の授業を行う 2. 講義科目についてWebClassで予習用教材を展開し、また資料配布を実施する 3. 卒研生の研究指導を行う 4. 後期実験科目のため、新規の実験テーマを立ち上げる |
| | | 実績 | | |
| 研究 | 自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など | 計画 | 15 | 1. 科研費挑戦的萌芽研究によりバイオマス利用に関する研究を他高専・大学と連携して進める 2. 上記に関する研究成果を論文投稿する |
| | | 実績 | | |
| 学生生活指導 | 学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など | 計画 | 30 | 1. 4A担任として学生指導を行う 2. インターンシップおよび国内工場見学旅行関連の業務を行う 3. 柔道部顧問として活動の指導をする |
| | | 実績 | | |
| 校務 / 管理運営 | 主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など | 計画 | 5 | 1. 教務委員として校務を行う 2. 情報セキュリティ推進委員として校務を行う |
| | | 実績 | | |
| 社会活動 | 学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など | 計画 | 5 | 1. 精密工学会九州支部会計幹事として会計を行う 2. 砥粒加工学会編集委員グループリーダーとして特集記事の企画を行う |
| | | 実績 | | |

教員業務内容報告書

| | | | | | | | |
|-------|------|----|----|----|-----|------|-------|
| 報告者氏名 | 細野高史 | 所属 | 機械 | 職位 | 准教授 | 報告年度 | 令和5年度 |
|-------|------|----|----|----|-----|------|-------|

| 分野 | 計画 | | 実績 | | 記載事項例 |
|---------|-------|--|-------|--|---|
| | エフォート | 内容 | エフォート | 内容(計画からの変更点) | |
| 教育 | 45 | 4年度にMoodle用に新規に作成した教材をWebClassに移植する。 新規に担当する精密加工学の教材を作成する。 機械工学実験において(公財)NSKメカトロニクス技術高度化財団の助成により導入した工具動力計の活用範囲を拡張する。 | 55 | Moodle用の教材はWebClassに移植することができず、新規に作り直すこととなった 機械工学実験において(公財)NSKメカトロニクス技術高度化財団の助成により導入した工具動力計の活用範囲を拡張、実験全般の切削力を評価できるようにした。 | 担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導 学生数 教育方法改善内容 |
| 研究 | 25 | 4年度に実施した高専研究ネットワーク形成支援事業を引き継ぎバイオマス活用の研究を推進する。 | 20 | 高専研究ネットワーク形成支援事業を継続し、バイオマス活用の研究が進展した このテーマで科研費に採択され、研究が進展した | 論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金 |
| 学生生活指導 | 5 | 柔道部の活動を監督する。 九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会柔道競技の主管校としての活動をする。 | 5 | 九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会柔道競技を無事に実施できた 空手道の大会に出場する学生の引率も行った | クラブ顧問 コンテスト指導 |
| 校務・管理運営 | 15 | 3年機械工学科の担任として学生を指導する。 教務委員としての業務をする。 総合情報センター委員としての業務をする。 | 15 | 3年機械工学科の担任として学生指導を行い、数多くの面談を実施した 教務委員としての業務を行った 総合情報センター委員としての業務を行った | 主事 その他の長 学科長 委員長 部長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員 |
| 社会活動 | 10 | 精密工学会九州支部、とりわけ支部会計幹事としての活動をする。精密工学会秋季大会学術講演会実行委員の活動をする。 砥粒加工学会編集委員グループリーダーの活動をする。 小学校での読み聞かせボランティアをする。 | 5 | 精密工学会九州支部会計幹事として活動した。精密工学会では秋季大会学術講演会委員として参加し、無事に大会を実施できた。 砥粒加工学会では編集委員会のグループリーダーとして特集記事を2本掲載することができた 小学校での読み聞かせボランティアを行った | 所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動 |

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。

教員業務内容報告書

| | | | | | | | |
|-------|------|----|----|----|-----|------|-------|
| 報告者氏名 | 細野高史 | 所属 | 機械 | 職位 | 准教授 | 報告年度 | 令和5年度 |
|-------|------|----|----|----|-----|------|-------|

| 分野 | 計画 | | 実績 | | 記載事項例 |
|---------|-------|--|-------|--|---|
| | エフォート | 内容 | エフォート | 内容(計画からの変更点) | |
| 教育 | 45 | 4年度にMoodle用に新規に作成した教材をWebClassに移植する。 新規に担当する精密加工学の教材を作成する。 機械工学実験において(公財)NSKメカトロニクス技術高度化財団の助成により導入した工具動力計の活用範囲を拡張する。 | 55 | Moodle用の教材はWebClassに移植することができず、新規に作り直すこととなった 機械工学実験において(公財)NSKメカトロニクス技術高度化財団の助成により導入した工具動力計の活用範囲を拡張、実験全般の切削力を評価できるようにした。 | 担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導 学生数 教育方法改善内容 |
| 研究 | 25 | 4年度に実施した高専研究ネットワーク形成支援事業を引き継ぎバイオマス活用の研究を推進する。 | 20 | 高専研究ネットワーク形成支援事業を継続し、バイオマス活用の研究が進展した このテーマで科研費に採択され、研究が進展した | 論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金 |
| 学生生活指導 | 5 | 柔道部の活動を監督する。 九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会柔道競技の主管校としての活動をする。 | 5 | 九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会柔道競技を無事に実施できた 空手道の大会に出場する学生の引率も行った | クラブ顧問 コンテスト指導 |
| 校務・管理運営 | 15 | 3年機械工学科の担任として学生を指導する。 教務委員としての業務をする。 総合情報センター委員としての業務をする。 | 15 | 3年機械工学科の担任として学生指導を行い、数多くの面談を実施した 教務委員としての業務を行った 総合情報センター委員としての業務を行った | 主事 その他の長 学科長 委員長 部長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員 |
| 社会活動 | 10 | 精密工学会九州支部、とりわけ支部会計幹事としての活動をする。精密工学会秋季大会学術講演会実行委員の活動をする。 砥粒加工学会編集委員グループリーダーの活動をする。 小学校での読み聞かせボランティアをする。 | 5 | 精密工学会九州支部会計幹事として活動した。精密工学会では秋季大会学術講演会委員として参加し、無事に大会を実施できた。 砥粒加工学会では編集委員会のグループリーダーとして特集記事を2本掲載することができた 小学校での読み聞かせボランティアを行った | 所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動 |

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。